

共結新聞

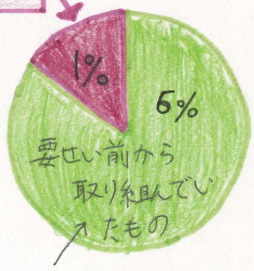
共に手を結び
協力しましょうの
願いをこめた新聞

発行者
筒井睦敬
唯那

発行日
平成24年
9月26日

特集 その1 鉄道会社の節電方法

今年の夏、原子力発電の停止により、電力不足が心配されました。香川県でもセーセントの節電の要せいがありました。それを受けて、香川の鉄道では、他の鉄道とちがったとても変わった節電方法を取り入れました。



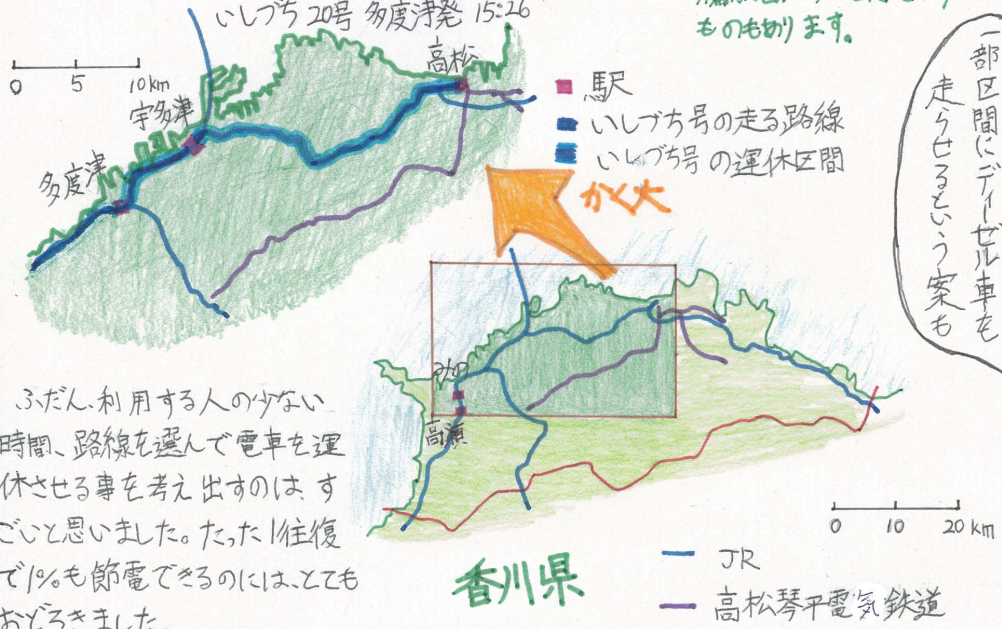
3月のダイヤ改正で車両編成を減らされたというものも知ります。

予讃線が節電のためにした事とは…

予讃線には **しおかぜ いしづち号** という2つの特急電車を連結させた特急があります。しおかぜは松山-岡山 いしづちは松山-高松を走ります。ふだんは瀬戸大橋から1番近い宇多津駅で切りはなしたり、合体させるのですが…

何と、**昼間に走る いしづち号を1往復、高松-多度津間を運休させる** という事でした。(平日のみ)

いしづち17号 高松発 13:50
いしづち20号 多度津発 15:26



ふだん利用する人の少ない時間、路線を選んで電車を運休させる事を考え出すのはすごいと思いました。たまたま1往復で1%も節電できるのにはとてもおどろきました。

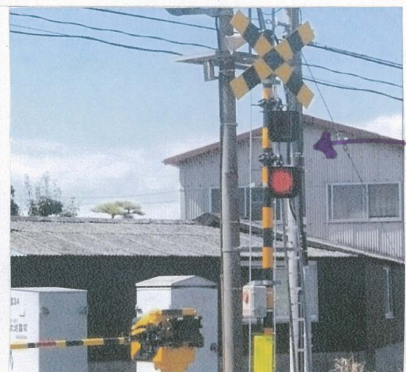
香川県

特集 その2

進歩するふみ切

安全で快適な乗り物の電車。電車の車両は日々進歩しています。松達の住む三豊市を走る予讃線の電車も今年改定された車両が走っています。

しかし、進歩しているのは電車だけではありません。今回、私達が見つけたのは「ふみ切」の進歩です。どの様に進歩したのか紹介します。



電灯がLEDライトに変わっています。その上360°どの方向からも見ることが出来ます。(みの駅横)



よくあるふみ切です。電灯は電球です。線路の周りは大きく切った石です。



線路のまわりに置いて(おて)いるのは、色はちがいますが、どちらもゴムです。左側は夕々に、右側は陸上のトラックに似ています。ふみ切に高低差があって、車が右にひかかっていたのがなくなりました。(高瀬駅近く)

どちらもうまな進歩ですが、電車、車、歩行者、全部の役に立っています。これからこの様に進歩していくのか楽しみです。

今回、この新聞を発行して思った事は、節電、鉄道の改良、どちらも、未来に向かってもっと進めていくものだと感じました。私達も役に立てる事が出来る様になりたいです。